

創刊号

# えこたび

ペットボトル編

協力

公益財団法人 横浜市資源循環公社

NPO 法人 アクションポート横浜



1

## 製作メンバー

- はるちゃん
- ふーちゃん
- みっきー
- はなちゃん
- ぺー
- やす

6.4

この数字はなーんだ?

答えは6ページ→



3

捨

運

集

分



ペットボトルは軽く  
ゆすいで、キャップ  
とラベルは取ってそ  
れぞれのゴミ箱へ。



ゴミ収集車で資源  
選別施設まで運  
ばれます。(ex 鶴  
見資源化セン  
ター)



ペットボトルが入っ  
た袋たちはヤードと  
呼ばれる所に集め  
られます。夏場は  
冬場に比べて倍の  
量になります。



コンベアで流れてく  
るものの中から、  
手作業でペットボト  
ルだけを取り選別  
していきます。



# 塊



プレスされ、ベールと呼ばれる四角い塊となります。ベールは分別度合いにランク付けされます。

# 届



ベールは生まれ変わるため、再生資源として売却したり、指定法人に引き取りを依頼し、再商品化されます。

# 生



制服、ワイシャツなどの繊維製品や、卵パック、製品パッケージ、ペットボトルなどに再生利用されます。

# 買



再び生まれ変わり、もう一度消費者のもとへかえっていきます。

5

# リサイクルのこんなところが素敵!

## ごみから資源にチェンジ

分別を心がけることによって、  
ごみではなく資源として扱えます。

## 限りある資源の長生き

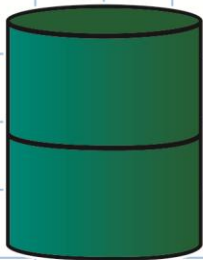
私たちの生活に密接に関わっているエネルギー・資源には限りがあります。  
特に石油は枯渇期限（可採年数）が示されている資源です。  
リサイクルはその限りある資源を使いすぎないという点で有効なのです。

# 資源・コスト・エネルギーの節約につながる。

1から製造するよりも、リサイクルの方が  
費用やエネルギーの使用を押さえられて断然◎  
その差をバーチャルエネルギー・マネー<sup>※1</sup>で比較してみましょう。

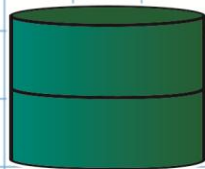
エネルギー<sup>※2</sup>

製造



59.8ml<sup>※4</sup>

リサイクル



20.3ml<sup>※5</sup>

マネー<sup>※3</sup>

製造



12円<sup>※4</sup>

リサイクル



6.4円<sup>※5</sup>

※1 製造・リサイクルに使用される石油やお金の総量。

※2 原油量・運搬車両燃費を含む

※3 人件費・光熱水費を含む

※4 採油から精製までの数値

※5 収集からリサイクルまでの数値

※出典:雑学ポータルHP <http://takech.fc2web.com/money/01.html>

公益財団法人 横浜市資源循環公社

7

# 私はリデュース推し!

NO!

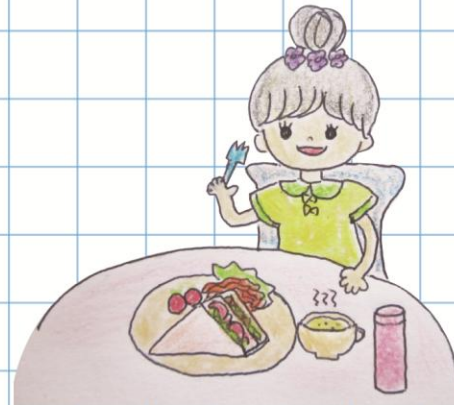


街 でついつい。

いつも 貰っちゃうそのティッシュ、  
実はいらないかも…。

7 ランク豪華に。

飲み物を持参して、  
いつものお昼にもう一品。





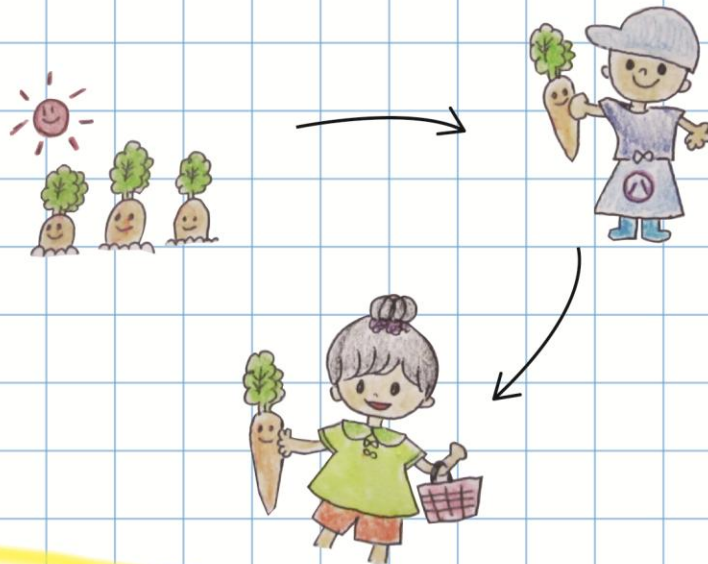


## 体型維持。

太らないようにして、  
お気に入りの服を長く着よう。

## 地産地消。

地元でつくられた物を  
買うようにしよう。



これまで

じーさんじゅう



G30

これからは

スリム

3R夢

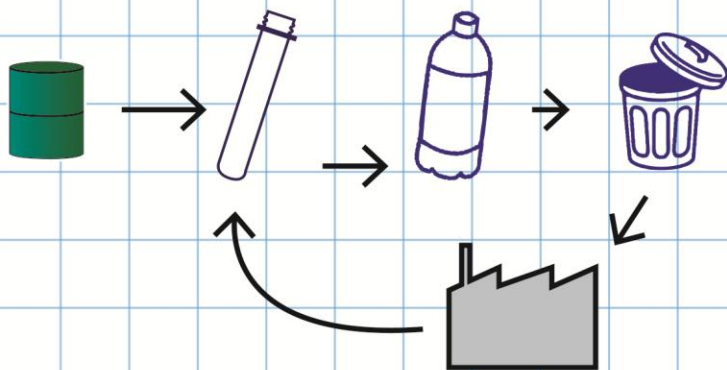
横浜は  
一歩先へ



9

資源に出来るものは資源に!

使う前から考える!



R リデュース

ゴミそのものを減らす

R リユース

何回も繰り返して使う

R リサイクル

分解して、再び資源として使う

**分** 別・リサイクルをすることによって、  
 ごみの削減を目指す取り組みです。削減目  
 標を30%としていましたが、横浜市民が徹  
 底分別を行ったことで、ゴミを大幅に減ら  
 すことに成功しました。

**リ** サイクルはゴミ削減の為に、とても大切  
 です。でも、リサイクルをする時にも、エネ  
 ルギーを使い、CO2が発生します。次なる  
 ステップは、使う前から抑制する、リデュ  
 ースという取り組みです。

# エコツアー 2012.2.21



事前勉強中



実際に見学中



目の前には宝の山



みんなで記念撮影!

今回はペットボトルのリサイクル工程を見に行きました。

実際に行ってみると臭いに耐えながら、ひたすら手作業で選別を行っている姿があったりと、リサイクルする過程にも様々な苦勞が必要だと分かりました。

リサイクルより前から考える、リデュース・リユースの大切さ、また分別の大切さを実感できた旅でした。

## 第2回エコツアー!

実はこのエコツアー、今後も続きます。  
まだ内容等は未定ですが、絶対に後悔はさせません。  
企画者、参加者ともに募集しています。  
アイデアのある人、現場を見たい人、仲間が欲しい人  
どんどん来てください。

詳しくは

<http://m.profile.ameba.jp/pub/roomTop?targetAmebald=ecotour-tabii>